



2020年5月31日発行

JYBA

vol. 52



祈りの鐘

全日本仏教青年会

寺に眠るお宝はどれほどの価値？“リアル鑑定団”体験レポート

寺院などに眠る古美術を対象にした鑑定・査定。鑑定と聞けばテレビ番組のイメージはあるけれど、実際にはどのようなやりとりがおこなわれるのか知らない方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、骨董品・美術品の買い取りを専門にする日晃堂の出張鑑定に同行しました。

出張鑑定の取材に協力してくれたのは、群馬県前橋市にある天台宗寺院「泉蔵寺」。源平合戦のひとつ「一ノ谷の戦い」で有名な熊谷直実(運性上人)の開山と伝えられる古刹です。住職の荒木亮佑さんは赴任して8年目。寺には祖父である先々代が収集した掛軸や壺が大量に保管されていましたが、長らく手つかずの状態だったのだとか。それを知った先輩住職に勧められたこともあり、出張鑑定を体験してみることに。一方の鑑定士は、日晃堂の代表を務める平松啓央さん。



今回ご協力いただいた泉蔵寺

ん。西洋から東洋までの美術に精通したベテランです。掛軸、壺、仏像など、大小さまざまな美術品約50点を前に、鑑定スタート。住職の荒木さんが個人的に注目していたのは掛軸です。というのも、先々代のコレクションには掛軸が圧倒的に多く、その数30点以上。「もし価値のあるものがあるとすれば、掛軸のどれかではないか」と、荒木さん。30点のなかでも特に、日本画が描かれた大判の掛軸は素人目にも価値がありそう。実際はどうかと鑑定士の平松さんに問うと、平松さんは「これは前田青邨の作品ですね」と即答。「前田青邨は大正から昭和時代にかけて活躍した著名な日本画家です。かなり手間をかけたであろう作品なので、真筆(本物)なら市場では5,000万〜で取り引きされますが、この掛軸はレプリカ



鑑定士の平松啓央さん。次々と美術品の真贋を見抜き周囲を驚かせた

(複製品)なのでそこまでの金額的価値はありません。ただし、出版社がきちんとライセンスを取得して販売したレプリカなので、価値がないわけでもない。荒木さんのお祖父様は数十万円で購入しているはずだ」

平松さんによると、その作品が本物である可能性の高さを示す目印は「共箱」と呼ばれる収納箱の存

在。作品名と落款のついた共箱は、ある種の証明書になる——そう聞いて、次にわれわれが目をつけたのは箱に入った壺。丸い壺を共箱から取り出した平松さんは、「本物です」と断言。「三代目徳田八十吉」といって、近年まで存命だった九谷焼の陶工の作品です。この壺は彼が1988年に三代目を襲名したあと、97年に人間国宝に認定されるま



でのあいだにつくられたものですね。壺を一瞥しただけで作家名や制作時期を言い当てる目利きに、思わず唖らされます。

続いて平松さんが興味を示したのは、一片の香木。伽羅、沈香、白檀と3つある香木のランクのうち、これは沈香に該当するのだとか「最高級の伽羅は金に匹敵する価値があり、高いものでは1g5万円ほどもします。沈香は伽羅には及

びませんが、それでも1g1,000円以上だと思えます」。日晃堂では香木の売買だけでなく販売もおこなっていて、寺院からの引き合いも多いそうです。

最後に鑑定したのは、木彫りの仏像。30cmに満たない小さなものですが、平松さんは興味津々の様子。どうやら有名な作家の作品のようです。「これは澤田政廣という彫刻家の真作ですね。共箱があ

るし、作品の出来栄もかなり良い。業者の取引価格では50万円ほどになるかもしれません」と、われわれの予想に反して本日の最高額を記録！鑑定士、恐るべし。

鑑定がひと通り終わったあと、荒木さんに感想を聞きました。「私は年齢もまだ若いので骨董や古美術に興味をもてずにいたのですが、祖父の遺品の価値がわかったことは大きな収穫でした。売ることは考えていませんが、きちんと守っていこうという自覚が芽生えた気がします。それにしても、実際の鑑定はテレビとは違うのです



ね(笑)」

荒木さんの言葉に、「テレビは盛ってますから」と、平松さんも苦笑い。いずれにしても、思いの詰まった美術品だからこそ、出自や真贋を知りたいと感じるのは自然なこと。そういえばうちにも眠っているお宝があるという方は、信頼できる鑑定でその価値を確認してみたいかがでしょうか。



ごあいさつ



全日本仏教青年会
第22代理事長 谷 晃仁

平素は全日本仏教青年会(以下、全日仏青)に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和元年6月に就任させていただき、1年が経とうとしております。第22期はテーマに『パートナーシップ』を掲げ加盟団体相互の協調と繋がりを強化し、一般のかたにもっと仏教と接していただく機会を増やして行くこと、さらには世界レベルの偏見や差別や不平等を廃し、貧困や戦争の無い環境作りを模索していくこと、これらを活動の中心としてきました。第21代倉島理事長期にも活動の中心でありました「SDGs(持続可能な開発目標)」を継続し、僧侶だけで行う活動から様々な業種の方と協働し、これからの寺院護持や仏教活動をどのように展開していくか模索することを継続しております。

しかし、この1年を振り返ってみると過去経験したことが無いような情勢でありました。令和元年夏には度重なる巨大台風により全国各地で河川氾濫、家屋の浸水、ライフライン断絶など生活基盤を壊すような状況に陥りました。その被災によって犠牲者もあり、生活地域が完全復興していない箇所も数多くあります。自然災害により物心共に安寧を取り戻せていない方はまだまだ多くおられるのが現実であります。

さらには本年令和2年になってからは世界的疫病【COVID 19(新型コロナウイルス)】の感染拡大により、生活が一変しました。日本国内ではオリンピック・パラリンピックをはじめ各行事が中止・延期となり、学校や会議、職場で大勢が集まる事が出来なくなり、個人的社会的にも経済が困窮しております。これは世界各地でも同じように苦しんでおります。

全日仏青行事でも3月の『東日本大震災慰霊復興祈願法要』も中止とし、会員各寺院で祈りを捧げる事に変更し、4月はWFBY行事であります『国際仏教徒青年交流プログラム(IBYE)2020日本開催』を中止し、5月は全日仏青毎年恒例であります『仏法興隆花まつり千僧法要』も中止となりました。これらの事業に多くの方からご助力、ご協賛いただいておりますが、感染拡大リスクを考慮して中止と決定させていただきました。準備を進めていた役員やスタッフ、参加予定でありました参加者、来賓方には大変申し訳ありませんが社会情勢を鑑みてご理解いただきますようお願いいたします。

今回のように、人は災害や困難にあたった時に人を助けようとする心と自分が被害を受けたくない気持ちから他者を排する心の両面が現れてしまうように感じます。コロナウイルス感染を例に考えると、ウイルスを人にうつさないためにも自分の行動を考えることや、手洗いマスクなど衛生面に気をつけること、医療従事者など疫病対応させている方を支援しようなど、他者を思いやる行動があります。反面では〇〇国や〇〇県では感染者が多いからその地域の人が感染拡大している。その地域の人のせいだ!や、〇〇の職業の人は感染している可能性が高いから家から出るな、など排他的な行動があります。前者は困難に打ち勝つための方法を皆で行動していく、自分の出来ることをやっていくと、前向きで他者を信じ共生していくことを望んだことであります。後者は自分が良ければ他を切り捨てていく、いざ自分が当事者になったことを考えない自己中心を望んだことであります。前述しました「偏見や差別や不平等を廃し」を実現する行動として、他者を排せず共生のための行動をしていきたいと考えます。

この困難に向けて、まず祈りを捧げ「災害物故者追悼・早期復興祈願 病没物故者追悼・早期終息・病氣平癒祈願」を願っていきたくと思います。さらには我々青年僧が災害や疫病に対して実際に何が出来るのかを一人一人が考究、勘案していただきたいと願っております。

最後に、この会報誌JYBAを通じて、皆様に全日仏青への更なるご理解とご協力をお願いし挨拶とさせていただきます。

合掌

<p>美術品 骨董品</p> <p>日晃堂</p> <p>TEL.0120-545-786</p>	<p>骨董品買取目 香木 / 掛軸 / 中国骨董 / 茶道具 / 刀剣 / 陶磁器製品 / 絵画</p> <p>甲冑 / 金銀製品 / 西洋骨董 / 翡翠 / 古書 / 古銭 / 簞物 / 彫刻 / 勲章など</p> <p>ホームページ https://nikkoudou-kottou.com/</p> <p>受付時間 9:00 ~ 20:00 (年中無休 年末年始除く)</p>	<p>全国出張買取</p> <p>横浜店: 横浜市神奈川区新町 304 / 名古屋店 / 大阪本社店</p> <p>大阪府公安委員会許可 第 621120162025 号</p>
	<p>TEL.0120-545-786</p>	

International Buddhist Youth Exchange Japan 2020

無期限延期について

全日本仏教青年会(以下、全日仏青)として、International Buddhist Youth Exchange Japan 2020(以下、IBYE Japan 2020)の開催に向けて、実行委員会を組織して準備を進めて参りました。このたびのIBYE Japan 2020は主催である世界仏教徒青年連盟(以下、WFBY)会長に当会顧問村山博雅師が就任してから初めての日本開催でもあり、関西を中心とした日本仏教日本文化に触れるプログラムを予定しておりました。しかしながら新型コロナウイルス感染拡大による世界そして日本の情勢を鑑みまして、WFBYと協議を行い、令和2年2月25日全日仏青臨時理事会においてIBYE Japan 2020の無期限延期を決定いたしました。

誠に残念ではありますが、参加者スタッフ一同の健康を第一に考えての判断であることを、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

また、関係各位の皆様には準備段階より多大なるご支援を賜りましたこと、篤く御礼申し上げます。さらには開催に向けて、多数の皆様よりご協賛を賜りましたこと重ねて御礼申し上げます。下記にご尊名を掲載させていただきます。誠にありがとうございました。賜りましたご協賛は次回IBYE Japanの開催経費として積み立てさせていただきます。重ねてご理解のほどお願い申し上げます。

IBYE Japan 2020は無期限延期となりましたが、今後も引き続きWFBY日本センターとしてIBYEを始めとする国際活動を行ってまいりますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

全日本仏教青年会 理事長 谷 晃仁

IBYE 実行委員会 委員長 原 知昭

IBYE Japan 2020 協賛御芳名

昌 楽 寺 綾小路乗俊
安西 正龍
福 田 寺 井澤 孝一
常 念 寺 石山 誠治
宝 泉 寺 伊藤 信道
妙 法 寺 大岡 真祥
仙 岳 院 大樹 玄承
不 動 院 大河内隆敬
極 楽 寺 大塚 貫哲
光 明 寺 大橋 光貴
善 光 寺 大山 義道
廓 信 寺 淤見 善雄
影 向 寺 加藤 浩照
林 香 院 門脇 昌文
中 墓 寺 貴田 崇宣
龍 徳 寺 久間 泰弘
延 命 寺 河野 亮仙
長 光 寺 香村 一孝
法 要 寺 小寺 秀仁
妙 定 院 小林 正道

総 持 寺 小峰 立丸
知 行 院 坂本 観泰
栄 林 寺 櫻井 尚孝
東京ブレイストクラブ会長 佐藤 功岳
里村 法正
天 鷲 寺 澤田 圓成
浄 土 寺 渋谷 聡明
安 楽 寺 島本 久嗣
地 蔵 寺 神野 哲州
光 明 寺 鈴木 大和
善 光 寺 高橋 恵信
浄 泉 寺 立石 泰教
如 意 輪 寺 寺門 俊明
信 貞 寺 徳永 瑞幸
本 覚 寺 永倉 日侃
観 心 寺 永島 龍弘
円 満 寺 西郊 良光
中 院 仁平 雄俊
妙 極 院 羽生 智彦
多 聞 寺 番場 雅文

榎 寺 日比野郁皓
浄 光 寺 藤井 芳弘
成 就 院 平原 隆秀
長 専 院 正本 乗光
歓 成 院 名譽住職 摩尼 之法
富 光 寺 松家 宣崇
浄 光 寺 三浦 公正
金 澤 寺 宮寺 守正
瑞 龍 寺 矢坂 誠徳
妙 浄 寺 藪木 恵照
広 濟 寺 吉川 道源
永 福 寺 吉村 明仁
興 禅 寺 芳村 元悟
淵 之 坊 若麻績享則

皆様から頂戴いたしました助成金については、次回IBYE日本開催(開催時期未定)の事業費と使わせていただきます。それまでは海外交流金として引継、申し送りさせていただきます。

世界仏教徒青年連盟とは

About the World Fellowship of Buddhist Youth / W.F.B.Y.

世界仏教徒青年連盟 WFBY 会長
全日本仏教青年会 JYBA 顧問

村山 博雅

最後に

この1年半の間、皆様のご愛を頂戴しながら、会長を務めさせて頂いておりますことを、心より御礼申し上げます。「多様性の調和Unity in Diversity」をコンセプトとして、下にある活動報告の通り様々な事業とともに会運営を行って参りましたが、Covid-19の感染拡大により3月からのすべての事業を延期することとなり、現在はWFBYのFacebookページより、オンラインの配信事業を継続しているところで。

このような状況の中思うところは、やはり、「仏教徒」という共通意識を伴う国境を越えた繋がりへの素晴らしさです。WFBYにおける仏教とともにあるポータルズでリアルなコミュニケーションは、コロナ禍の自粛についても、不安についても、現実として、また偏りのない多角的な認識とともに、広く正確な理解を与えてくれます。その理解はお互いへの励ましとなり、私たちそれぞれが自然と明日への一歩を踏み出す勇氣に変わっていくことを経験いたしました。仏教だからこそ実現できる良き繋がりなかもかもしれません。

この想いととも、改めて従来より申し上げて参りました、さらなる「世界仏教徒共同体World Buddhist Community」の形成に日本仏教者として尽力する所存です。この活動は、世界平和の実現と仏教の世界的敷衍への貢献のみにとどまりません。コミュニティ形成のための日本仏教者による積極的な国際交流活動は、アジア各国において戒律主義でないゆえに軽んじられる「日本仏教への誤解」を解き、世間一般の方々、ともに悩みともに歩む社会参画性の高い「日本仏教の特長」についての国際的理解を促します。そこに創出される日本仏教の重篤な存在意義は、将来的にアジア社会における日本仏教の盤石たる地位を確立し、各国のどのような仏教が台頭してこようとも、世界最先端としての日本仏教の存在を守っていくこととなるでしょう。

皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご愛とともに、ご理解ご協力を賜りましたら幸いに存じます。何卒よろしく御願申し上げます。



2018年11月の総会にて選出されたWFBY新執行役員メンバーとWFBY執行役員メンバー(於・マロウドインターナショナルホテル成田 写真提供 / (公財)全日本仏教会)



第29回世界仏教徒会議・第20回世界仏教徒青年会議日本大会・記念式典(於・大本山總持寺 写真提供 / (公財)全日本仏教会)

全日本仏教青年会「JYBA」の設立

「国際活動に参画する通仏教の仏教青年会を組織する」という日本仏教界の懸案事項は、1978年日本への招致に成功した第12回世界仏教徒会議までに解決することが急務となります。なぜなら、WFBの世界仏教徒会議とともに、WFBYは世界仏教徒「青年」会議を開催するからです。そのホストを日本の仏教青年会が担当することが理想でした。最終的に、世界仏教徒会議開催の前年に当たる1977年、仏教伝道協会、埼玉県仏教会館において、青年会設立のための代表者会議が開かれました。その結果、大阪が中心になり形成されていた(旧)全日本仏教青年会を継承し、ついに新(体)制・全日本仏教青年会を全国規模で組織することに成功しました。

全日本仏教青年会は同年10月埼玉県にて開催された全日本仏教徒会議に青年部会を設け参加し、続けて翌年東京・京都中心に開催された第12回世界仏教徒会議に参加しWFBYに加盟、連携することとなります。WFBYへの加盟を契機に設立された全日仏青は、この後、千僧法要や全国大会、国際交流を重ねながら、仏教青年会としての社会的意義を発信し続け現在に至ります。

WFBYの主な事業

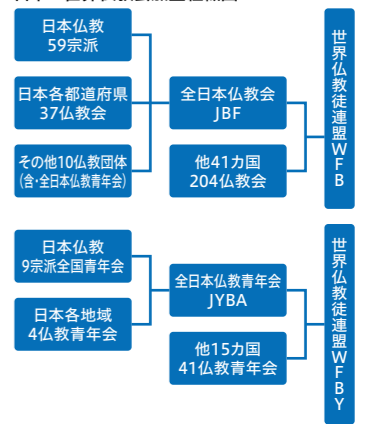
- WFBYの主な事業は次の4つです。
- ①国際仏教徒青年交換プログラム (International Buddhist Youth Exchange / IBYE)
- ②国際仏教徒青年フォーラム (International Buddhist Youth Forum / IBYF)
- ③仏教徒青年指導者研修 (Buddhist Youth Leaders Training / BYLT)
- ④仏教徒青年指導者セミナー (Buddhist Youth Leaders Seminar / BYLS)

特に①IBYEは、各国の青少年仏教徒を交換して行われる国際交流プログラムであり、WFBY最大の継続事業となります。このプログラムの最大の特徴は、ただの国際交流ではなく、国境を越えた友好関係や、民族や文化の違いを超えた相互理解を「仏教を通じて」築くことが出来るということです。国際仏教会にふさわしい最高のプログラムであると確信いたします。また、青年会のさらに若いメンバーを中心に形成される「クラブ25」の根幹を成す事業でもあります。本年のIBYEは、WFBY日本センターとしてのJYBAがホストを受け、4月に日本での開催が決定し準備が進められていましたが、残念ながらCovid-19のパンデミックにより無期限延期を余儀なくされました。日本での開催は大変人気があるだけに、終息後、次回日本開催への期待はさらに高まると推測されます。

今期 WFBY 活動報告 (2018 年 11 月～2020 年 6 月)

日 程	事 業 名	場 所
2018/11/4 ~ 11/9	世界仏教徒会議・世界仏教徒青年会議 / WFB-WFBY世界大会	成田・横浜 / マロウドインターナショナルホテル成田・大本山總持寺
2018/12/4 ~ 12/5	世界仏教大学(WBU)SDGsフォーラム	バンコク / WFB本部
2019/2/8	WFBY会長就任祝賀会	東京 / グランドプリンスホテル高輪
2019/3/5 ~ 3/6	台湾仏教会・台湾仏教青年会表敬訪問	台北 / 台湾仏教会本部
2019/4/1	WFBY執行役員会議(EXBO)	バンコク / WFB本部
2019/4/23 ~ 4/24	WFBY執行役員会議(EXCO)	バンコク / WFB本部
2019/5/8 ~ 5/10	マインドフルリトリート	横浜 / 大本山總持寺
2019/5/12	慈濟財団花まつり仏誕祭	台北 / 国立中正記念堂
2019/6/11 ~ 6/12	G20議案フォーラム2019京都	京都 / 京都府議会旧議事堂 他
2019/7/13 ~ 7/18	国際仏教徒青年交換プログラムIBYE Thailand / Mindful Leadership	バンコク / YBAT本部
2019/8/26 ~ 8/30	マレーシア国際交流研修会	東京 / 築地本願寺・誓王寺・曹洞宗権信徒会館
2019/10/7 ~ 10/9	諸宗教対話世界平和会議	パリ / ユネスコ本部
2019/10/18	World peace gathering 2019 in Koyasan	高野山 / 総本山金剛峯寺
2019/10/29	泉涌寺天皇即位慶祝法要	京都 / 総本山泉涌寺
2019/11/5	石川素重禪師百回御遠忌	横浜 / 大本山總持寺
2019/11/6 ~ 11/7	WFBY執行役員会議(EXCO)・WFBY執行役員会議(EXBO)	バンコク / WFB本部
2019/12/21 ~ 12/23	スリランカACBC100周年記念式典	コロンボ / パンダラナイケ記念国際会議場・ACBC本部
2020/2/11	WFBY本部表敬訪問	バンコク / WFB本部
2020/2/13	WFBYバンコクZEN研修会 / The Way of Zen	バンコク / WFB本部
2020/4/8	障壁会・Covid-19早期終息祈禱法要 / Prayers on Vesak In Japan(オンラインライブ)	WFBY Facebookページ
2020/4/24	仏教理論における持続可能な成功法 / Success SIKISHA(オンラインライブ)	WFBY Facebookページ
2020/4/29 ~ 5/6	全日仏主権・祈りの鐘 / 10 Bells for Prayers(オンラインライブ)	WFBY Facebookページ
2020/6/2	女性三蔵・佛及の旅 / Retracing Bodhisattva Xuanzang Project(オンラインライブ)	WFBY Facebookページ
2020/6/7	自宅瞑想 / Meditation from Home(オンラインライブ)	WFBY Facebookページ

日本・世界仏教会加盟組織図



東京ブディストクラブ・全日仏青支援の会共催 世界仏教徒青年連盟 (WFBY) 本部表敬訪問

WFBY本部表敬訪問スケジュール

1. WFBY会長挨拶
2. 佐藤功岳東京ブディストクラブ会長挨拶
3. 村山博雅WFBY会長挨拶
4. 谷晃仁全日仏青理事長挨拶
5. 国際仏教徒青年交換プログラム (IBYE) について
6. WFBY行事報告並びに行事計画について
7. お勤め-三帰依文・般若心経・祈願文-
8. プレゼント交換
9. 記念撮影

報 告

2020年2月11日、タイ国バンコクにある世界仏教徒青年連盟 (WFBY) 本部への表敬訪問が行われました。この度の訪問は、東京ブディストクラブ・全日仏青支援の会の発案により、本会を合わせた3団体共催事業として開催されました。

WFBY (the World fellowship of Buddhist youth) とは未来を担う青年達の仏教に対する理解を広め深めることを目的に結成された国際ネットワークであり、各国の仏教団体が加盟する国際仏教青年組織です。現在、そのWFBYの会長には、村山博雅本会顧問が就任しております。今回のように、WFBYとしてスリランカ、タイ国以外から日本人が会長になるのは日本国としても、また大乘仏教圏においても初めてのこととなります。

WFBY本部は世界仏教徒連盟 (WFB) 本部ビルの中にあります。スクンビットエリア、プロンボンのベンジャシリ公園に面しており、都心にありながら身近に緑が豊富で静かな環境の場所に位置していました。到着した我々は、WFBY本部スタッフ同様より温かく迎え入れて頂きました。本部ビルの施設を簡単に案内していただいてから会議室に通されました。この度の表敬訪問に参加する日本側、タイ国側それぞれのメンバー紹介が行われ、今後予定されている4月の国際仏教徒青年交換プログラム (IBYE) の開催についての話し合いや、WFBYの行事報告、全日仏青としての国際交流のありかたなどについて、充実した意見交換が行なわれました。その後、ブツがまつられるメインホールに移動し、佐藤功岳・東京ブディストクラブ会長導師のもと、参加メンバー全員で三帰依文・般若心経のお勤めをし、世界平和をお祈り致しました。

表敬訪問の感謝を込めたプレゼント交換、記念撮影の後、WFBY本部事務室にて歴史的な資料を拝見させて頂きました。個人的な見解になりますが、資料拝見しながら古くからの日本との交流の歴史を感じました。長年の交流の繰り返しにおいてお互いの団体への信頼が培われてきた上で、今回日本人のWFBY代表が生まれたと気が付き、先人の方々のお力を感謝せずにはいられません。

他にも、タイの方々がプログラムになかったにも関わらず、わざわざ私達の為に事務室を丁寧に案内して下さいました。会議の際にたくさんの飲み物やサンドイッチなどを何度度度も笑顔で運んでくれたこと。このようなおもてなしをうけたことが本当にありがたく、さすが微笑みの国タイ国だと感激致しました。見学後は、懇親会が行なわれお互いに慣れない英語と日本語を使い、またの再会を約束して表敬訪問は終了しました。



日本側・訪問代表団メンバー (計9名)
【東京ブディストクラブ・全日仏青支援の会】
 佐藤 功岳 (東京ブディストクラブ会長・全日仏青支援の会幹事長)
 麻布 真海 (東京ブディストクラブ元会長)
 番場 雅文 (東京ブディストクラブ副会長・全日仏青支援の会)
【全日仏青】
 谷 晃仁 (全日仏青理事長・WFBY日本センター長)
 原 知昭 (全日仏青副理事長・全日仏青国際委員会副委員長)
 東海林良昌 (全日仏青顧問・全日仏青WFBY執行特別委員会副委員長・WFBY顧問・WFB副事務総長)
 松岡 広也 (全日仏青WFBY執行特別委員会委員長・WFBY顧問)
 清水谷善誠 (全日仏青事務局会計)
 竹林 俊尋 (全日仏青事務局次長)
 タイ国側・訪問代表団受入メンバー (計7名他事務局員)
【WFBY本部】
 村山博雅 (WFBY会長・WFB執行役員・全日仏青顧問)
 Mr. Noppakao Chaiyaburin (WFBY会長代行)
 Mr. Narong Orsrichaivait (WFBY副会長)
 Mr. Idanont Thaiarry (WFBY事務総長)
 Mr. Jirayu Kaewphanao (WFBY会計長)
【WFB本部】
 Mr. Phallop Thaiarry (WFB事務総長)
 Mrs. Sawanee Chuensumran (WFB副事務総長)

今回の表敬訪問は、全日仏青支援の会幹事長であり東京ブディストクラブ会長である佐藤功岳・本会第7代理事長のご尽力により実現したものです。貴重な機会を頂戴し、またご同行させて頂き心より感謝申し上げます。(報告者/事務局次長・竹林俊尋)



国際委員会活動報告

国際委員会は、全日本仏教青年会 (以下、全日仏青) の目的にある、「全世界の仏青との交流を深め仏教文化の宣揚と世界平和の進展に寄与する」に基づき、国際親善事業及び仏教文化交流を行い、世界仏教徒青年連盟 (WFBY) の日本センターとして、また村山博雅WFBY会長輩出団体として積極的な国際交流を担っております。

様々な活動の中からここでは令和元年8月26~30日に開催された「マレーシア仏教青年会国際交流プログラム」を紹介させていただきます。

この国際交流事業は、グローバル化が加速する国際社会において、青年仏教徒の相互理解と、次代を担う人材育成、「日本」と「マレーシア」二国間のより堅固な相互協力関係を構築することを目的として、マレーシア仏教青年会の代表と随行者の2名、大学仏教青年会など13名の学生、日本側はCLUB25メンバー 7名の参加により、青年国際交流を行いました。1日目には全日本仏教会への表敬訪問を行い、東京タワー周辺散策後に築地本願寺へ宿泊をしました。2日目は、

国際副委員長 原 知昭

築地散策の後福島県いわき市へ移動、3日目に九品寺インターナショナルこども園に訪問し、いわき市のこどもを取り巻く環境の現状を学びつつ、園児たちと歌や踊りを交え楽しく交流しました。また、震災における当時の状況そして現状を視察いたしました。4日目には、曹洞宗医王寺様において様々な日本文化仏教文化の体験を行いました。

プログラム行程のなか、それぞれの国としての仏教の在り方の違いに戸惑いながらも、お互いを尊重し、理解しあう青年仏教徒の姿に、国際的な仏教の宣揚、世界平和実現への貢献とともに、アジア社会をはじめとする広く世界に対する日本仏教の魅力発信に繋がったと確信いたしました。

今後も、グローバル化が進み、さらには東京オリンピックパラリンピックが控える中で、世界各国の青年僧侶として青年仏教徒との親善交流を深め、世界平和の進展に寄与出来るよう各事業を努めて参ります。

教化研修委員会活動報告

昭和63年4月26日より途切れることなく開催され、全国各地から宗派の垣根を超えた青年僧侶が集い、釈迦牟尼帰依の法要を通して世界の平和と安寧を願う仏法興隆花まつり千僧法要が本年5月26日に予定されておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に鑑み、4月上旬に開催の中止を決定いたしました。御出仕を予定くださった各団体会員の皆様、開催に向けた準備にご尽力いただきました皆様におかれましては、先ずもって御礼と御詫びを申し上げます。

教化研修委員会は年間を通じて主にこの花まつり千僧法要の企画、運営に当たります。この10年程の千僧法要開催のなかで、新しい企画にもチャレンジして参りました。法要の英訳解説、一般参加の方々への輪袈裟授与、書道展の同時開催、大仏殿唐破風より行われた大散華など会場である東大寺様のご協力のもと、多くを実現することができました。

本年度は昨年7月より始動した委員会活動の中で、一般参加の皆様にオリジナル御朱印帳を授与し、多くの御寺院様で仏縁を結んでいただくことを立案しておりました。また本年は例年の開催日が4月26日のところ、当日が日曜日のため5月26日の開催となり、各団体様への周知にも努めて参りました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念が昨年度末より囁かれ、本年明けよりマラソン大会の中止を皮切りに全国の自治体主催のイベントが矢継ぎ早に中止決定となりました。また全日本仏教青年会におきましても4月上旬開催予定でありましたIBYE JAPAN 2020の中止が決定致しました。そのような状況のなか当委員会では5月下旬の開催とはいえ、感染拡大の懸念が払拭されないまま、全国各地から各種公共交通機関を利用して会場に参集することは現時点で適当ではないと判断し、共催である東大寺様、南都二六会様と協議ののち、谷理事長に中止のご判断をいただきました。

本年度の開催は不可能となってしまいましたが、この経験を今後

教化研修委員長 須方 審證

の委員会運営に生かせるよう、しっかり次年度に引き継いで参ります。

末筆となりますが、会場である東大寺様、南都二六会様を始めとする各団体様、関係者の皆様に衷心より御礼と御詫びを申し上げますとともに、一日も早い事態収束を祈念致します。



※写真は去年のものです

次回東大寺告知

令和3年4月26日に例年と同様の開催を予定しています。



第20回WFBY世界仏教徒青年会議 日本大会開催記念出版

心身スッキリ! 人生が変わる!
プチ修行できる
お寺めぐり

各宗派の
本山も掲載
しています

坐禅や寺ヨガなど、
様々な修行体験が
楽しめるお寺を
豊富な写真と
詳細ガイドとともに
紹介した一冊!



全日本仏教青年会監修

株式会社産業編集センター編 本体1,500円+税 A5判 並製本 160項



金峯山寺

四天王寺

大念佛寺

増上寺

金剛峯寺

總持寺

久遠寺

東大寺

延暦寺

永平寺

青年僧が厳選した「修行体験」ができる50ヶ寺をご紹介します

全日本仏教青年会は、9宗派と4地域の仏教青年会が加盟する団体です。その全国・超宗派のネットワークを駆使して、プチ修行ができるお寺をコンセプトに厳選し、50ヶ寺をご紹介します。様々な悩みやストレスを抱える現代社会において、少し日常と離れた空間で坐禅、ヨガ、写経、精進料理などを通じて仏教に触れてみませんか? お寺の歴史や境内のご案内はもちろん、修行体験の内容や所要時間、日時などもご紹介しています。意外と近くにふらりと寄れるお寺が見つかるかもしれません。

修行体験の割引やお守りのプレゼントなど、
本書オリジナル特典もついています。

こちらからお申し込みいただけます。

http://www.jyba.ne.jp/book_terameguri.php



世界の仏教界で議論されるテーマとは 全日本仏教会・国際部部長 掬池友絢氏に聞く

全日本仏教会・国際部の部長として世界の仏教徒と様々なテーマで議論を交わす掬池友絢氏。
いま、どのようなテーマが取り上げられているのか、世界の最前線について伺った。

仏教の教えは世界に影響を与えられる

――まず僧侶になったきっかけを教えてください。

「三姉妹なんです、2つ上の姉が継がないとのこと、私が跡継ぎになりました。大きなきっかけはないんです。ただ、中高と通っていたキリスト教系の学校は、宗教教育が熱心で毎朝礼拝がありキリスト教の教えに触れ、悩み多き思春期の心の救いになったこともあり、その時、宗教がよりよく生きるために必要なものだと感じることができたんです。生まれたときから身近にある仏教は、近すぎて教えのありがたさがよく分からなかったんですが、仏教をちゃんと勉強してみようと思いました。勉強しなかった臨床心理学も学びながら僧籍を取ろうと大正大学に入学しました。大学を卒業し僧籍をとったのですが、お寺を継ぐプレッシャーや迷いから両親へ反発もあり家出同然でお寺を飛び出して米カリフォルニアへ留学しました。その時の経験が今の私に様々な影響を与えました。帰国後、いろんな不安はありましたが、僧侶を続けていこうと決心しました」

――全日本仏教会の国際部就任年は。

「平成15年から浄土宗・宗務庁の社会国際部で仕事をし、出向で全日本仏教会国際部に配属されました。平成28年からの就任で現在5年目です」

――全日本仏教会は世界仏教徒連盟(WFB)唯一の日本センター。世界仏教徒連盟の主な活動は何ですか。

「WFBは仏教の教えに基づき世界平和へ寄与と、世界中の仏教徒が連帯することを目的に成立しました。今年は発足70周年です。現在、約40カ国、約200の加盟センターがあります。2年に一度世界中にある加盟センターの一つで世界仏教徒会議が開催され、記念法要や記念式典、シンポジウムが4～5日間かけて行われます。2018年には日本大会を千葉県成田市のマロウドインターナショナルホテル成田(会議体)と神奈川県横浜にある總持寺(記念法要)で開催されました。

連盟には常設委員会として、人道支援、インターフェイス、仏教伝道、友好、女性委員会など、11の委員会が設置されています。あとは世界で自然災害が起きた際に支援できる緊急支援基金があり、全日本仏教会や全日本仏教青年会が中心となって人道支援への寄付や活動を行っています」

――世界的に仏教が注目されています。仏教のどんな点が人々を惹きつけていると感じますか。

「社会が目指す方向として、平等、差別をなくし、他を認め合いながら手を取り合って共存していくということが大切にされています。また、最近ですとサステナブル、つまり持続可能な社会を実現しようという考え方がSDGs(持続可能な開発目標)と共に浸透してきています。この流れのなかで仏教が持つ“少欲知足”の教えや、あるいは冥想、仏教の実践に基づく体験が自己の生き方に意味を与えるという点が、世界で仏教が受け入れられる理由だと思います」

――世界に通じる仏教の魅力があるということですね。

「世界中に紛争など悲しいニュースが溢れるなかで、仏教の“他を否



きくち ゆうけん 1975年生まれ。浄土宗僧侶。大正大学人間学部卒。2016年より全日本仏教会国際部部長。国際仏教婦人会(ILAB)理事。静岡県三島市・蓮馨寺の副住職を務める。蓮馨寺では「お念仏の会」や「お寺BBQ」といった地域活動なども取り組む。また、部内では女性向けに「友絢さんとお茶を飲む日(寺子屋ブッダ)開催する。著書に「泣きたいときには泣いていい!」(講談社)がある。

定せず、共存していく”という教えが世界平和を作っていく可能性があるのではないのでしょうか。私自身、そんな仏教の教えは世界に影響を与えられると考えています」

――世界での仏教普及を考えたとき、日本の仏教界ができることは何だと思いますか。

「全日本仏教会の目的の一つに“仏教文化の宣揚”が挙げられます。もともと日本には、仏教の教えが生活の中にありますが、その考えを発信していくことも大切だと思います。例えば「もったいない」や「いただきます」の考え方などもそうですね。また、宗派を超えた僧侶たちが自発的に行う社会へ向けた慈悲の活動、例えば震災支援の活動や生活困窮者のサポートを行うひとさじの会やおやつクラブなど。また、介護をしている方を支援する介護者カフェ等の活動の情報発信や推進もできることの一つだと思います」

――最近、全日本仏教会として力を入れていることは何ですか。

「現在、全日本仏教会ではSDGs(=持続可能な開発目標)の普及に取り組んでいます。つまり、貧困をなくそう、すべての人に健康と福祉を、といった世界を変えるための17の目標を日本の仏教界に周知し、実践につなげていくことです。2018年、日本で行われた第29回世界仏教徒会議で採択された「2018東京宣言」にも関連しています。具体的な普及法は、本会機関誌『全仏』を通じてSDGsに関わって活動している方へのインタビューや取材を行っています。加盟団体や

地域寺院の皆さまにもSDGsについて考えていただき、具体的な活動に繋げてほしいという狙いがあります。

SDGsには、“誰一人取り残さない”という誓いがありますが、これはまさに仏教の教えの根幹です。すでにSDGsに関連する活動を各加盟団体やご寺院さまで行っているところも多いかと思いますが、改めてそれらの活動がSDGsのどの項目にあてはまるかを紐付けていき僧侶や檀信徒の意識を高めていくことが大切だと思います。SDGsの理念を日本の仏教界に浸透させることは、利他を重んじ、自国のみならず平和な世の中の実現のための意識を作っていくひとつの実践だと考えています」

世界会議では異なった視点を学ぶ

――国際部ではどんなときにやりがいを感じますか。

「世界には上座部仏教やチベット仏教、大乘仏教だったりいろいろな形の仏教が存在します。ヨーロッパやアメリカをはじめ世界中にその国の文化になじむ形で仏教が存在しています。異なった文化の中で育まれた仏教に触れることができたり、世界の仏教徒と交流できることはエキサイティングな経験です。

日本にいと特定の宗派の教えに捉われてしまうことがあります、国際部の仕事をしていると、仏教の本当に大事なエッセンス、教えとの出会い、教えの本質を学ぶ機会がたくさんあり、視野を広げる経験を頂いています。それらをどう世界平和の実践に繋げるかが、いまの私の課題です」

――国際部の仕事にはスキルも必要そうですね。

「英語力はもちろんですが、コミュニケーション力や国際感覚も欠かせません。国によって失礼なことや、大丈夫なことが異なります。例えば、音を立てておそばを食べることが海外では失礼にあたるといったことです。訪れる国のしきたり、食習慣の違いやマナーを尊重するようなことも含めた国際感覚は必要でしょう。私自身もWFBとの交流の中で様々なことを学ばせてもらっています」

――海外との宗教者・仏教者との交流で驚いたことなどありましたら、教えてください。

「国際部に就任当初、よく出席していたタイ・バンコクでの会議では上座部仏教の僧侶の方々が戒律によって正午を過ぎると食事をしないことになり驚きました。夜の食事でも上座部仏教の方々だけのテーブルは飲み物だけ。それでも一応食事の席には出席されるんです。上座部仏教の習慣に驚きました」

――国際部の活動で大変だったことはありますか。

SDGsとは?
SDGs(持続可能な開発目標)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。



1 貧困をなくそう
2 飢餓をゼロに
3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を
6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさも守ろう
16 平和と公正をすべての人に
17 パートナースHIPで目標を達成しよう
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

新型コロナウイルス終息祈願 活動

2020年、世界は未知なるウイルス(COVID 19)の脅威に晒されることになった。新型コロナウイルスは感染拡大を続け、5月31日には感染者が世界で600万人を超えた。日本では感染拡大を受け、56年振りに日本開催される予定だった東京オリンピック・パラリンピックが来夏に延期となり、4月7日には緊急事態宣言が発令された。対象地域は7都府県から全都道府県に拡大し日々の生活は一変した。不要不急の外出自粛の要請を受け、経済活動の停止・学校休校、さらに感染者急増により医療体制の崩壊危機に陥った。

終息の兆しが見えない状況は人々の心に不安や恐怖、緊張など様々な感情を生じさせた。未曾有の苦難に世界の宗教者が宗教・宗派を超えて祈りを捧げている。全日本仏教青年会も一堂に会する事はできないが早期終息を祈る活動を続けている。4月29日から5月6日まで「祈りの鐘」と称し、全国の仏教寺院に祈りを込めた鐘の音を鳴らす活動と呼び掛けた。鐘の音には「追悼・慰霊」、「応援・激励」、「感謝・敬意」、「勤労・称賛」、「勇気・希望」、「自制・自粛」、「祈願・誓願」などの祈りが込められた。「祈りの鐘」活動の様子は全日本仏教青年会SNSにより広く共有されている。

3月は東日本大震災及び各地自然災害物故者追悼・早期復興祈願、そして4月は釈尊降誕会に合わせて新型コロナウイルス病没物故者追悼・早期終息・病気平癒祈願の法要が全国各地で行われた。

活動に賛同された方々に感謝申し上げ、誌面にて活動の様子を紹介する。

祈りの鐘

新型コロナウイルス
早期終息祈念

全日本仏教青年会提唱
期間中毎十七時鳴鐘




お寺の働き方改革

檀家台帳、過去帳、家族帳の管理どうしよう…
今は紙だけど、次の世代に移す時もこのままではな…

パソコン買い換えようと思っているけど、データ移行はどうしたら？

外出先で急に電話が来た時に、スマホやノート PC で檀家さんの
情報が見られたらいいのに…



そのお悩み、すべて解決します!



難しい IT 知識が無くても大丈夫。製品 5 年保証で長期の安心をお届け

ハードウェア不具合
無償オンライン修理



アップデート
メンテナンス



お問い合わせ
サポート

- Work -

檀家台帳、過去帳、家族帳のデータは
パソコンのハードディスクに直接保存しているの
で壊れたらどうしよう…

バックアップ構築で PC
本体にデータを置かない
環境にしましょう

外出先で戒名や檀家さん情報が安全に
スマホやタブレットなどで見れたら便利
だなあ…

セキュリティ完備の
リモートアクセスが
標準搭載されています



- Private -

パソコン買い替え時に、データが壊れたりしたら
どうしよう… (日頃バックアップを取っていない)

外付け HDD だけのバックアップ環境で不安だ
(HDD が壊れたら困る)

NAS ミラーリング+HDD で
3 重のバックアップを実現します

世界的なトレンドが、クラウド
保存からハードディスクに戻り
つつあります

特別無料デモ実施中 5年リース 月額 20,000 円 (税抜) からの安心価格で導入可能!

寺院さま相談窓口：有限会社一進堂 営業部 (担当) 久慈 TEL048-464-3515



加盟団体 協賛広告



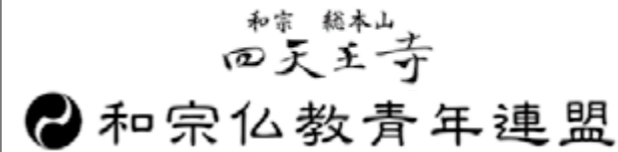
一隅を照らそう
天台仏教青年連盟

代表 松村 宗宣

〒289-0108 千葉県成田市高岡 163 眞城院内
TEL: 0476-96-0176 <https://www.t-y-b-a.com>



会長 小澤 慧月



〒543-0051 大阪府大阪市天王寺区四天王寺 1-11-18 総本山四天王寺内
TEL: 06-6771-0066 <https://www.facebook.com/wyba20121126>



理事長 武田 静典

【事務局】
〒607-8257 京都府京都市山科区小野御霊町 52 大乘院内
TEL: 075-571-4601 FAX: 075-573-6389

全国浄土宗青年会

第 26 期活動テーマ 念死念佛 ~ほとけにすぎる道~

〒850-0872 長崎県長崎市寺町 5-14 浄安寺内
TEL: 095-823-2875/FAX: 095-823-2897
mail: 26th.zj.jodo@gmail.com HP: <https://zj.jodo.or.jp>



〒547-0045 大阪府大阪市平野区平野上町 1-7-26 総本山大念仏寺内
TEL: 06-6791-0026 FAX: 06-6793-3050 <https://facebook.com/yuzusei>



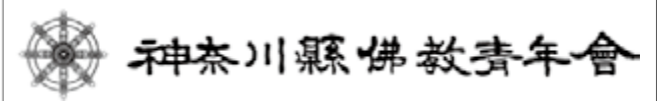
第 23 期会長 原 知昭



会長 塩田 義照
www.zennissei.com



〒330-0063 埼玉県さいたま市南区和区高砂 4-13-18 埼玉会館
TEL: 048-861-2138 FAX: 048-864-6649



<http://www.kyba.jp>

大阪府佛教青年会

会長 金龍山西法寺 楠 英信

〒592-8334 堺市西区浜寺石津町中 4-6-3
TEL: 072-241-1575 FAX: 072-241-1160 <http://www.oyba.jp>



理事長 螺澤 明法

〒650-0017 兵庫県神戸市中央区楠町 5-4-16 ワコーレ大倉山フラッツ102号
TEL: 078-382-2245 <http://kobe-jb.skr.jp>



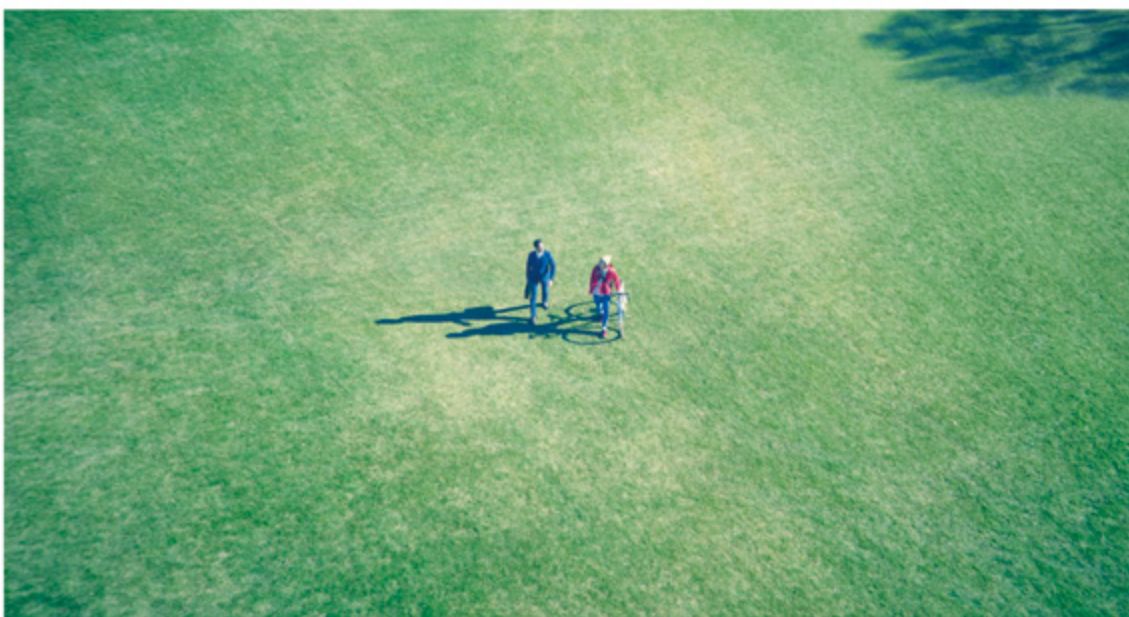


世の中には
いろいろな人がいて、
あなたの好きは、
だれかの嫌いかもしれない。

世の中にはさまざまな人がいて、それぞれの思いがある。
たばこについてもきっと同じこと。

だから私たちJTは、吸う人と吸わない人が
共存できる世の中をめざし、
分煙環境の整備や、マナーの啓発活動、
新しいスタイルのたばこ製品の開発に
取り組んでいます。

吸う人、吸わない人。好きな人、嫌いな人。
それぞれが認め合う、そんな社会を想像しながら。



ひとつずつですが、未来へ。

